



C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY  
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039  
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

国際会長	主題	信念のあるミッション スローガン：恵みを数えよう Wichian Boonmapajorn (タイ)
アジア会長	主題	愛をもって奉仕をしよう スローガン：まず自分から始めよう Edward K. W. Ong (シンガポール)
西日本区理事	主題	「あなたならできる！きっとできる」一生生きる しなやかに さわやかにー 遠藤 通寛 (大阪泉北)
九州部部長	主題	「九州から輝くワイズダム」 五嶋 義行 (阿蘇)

熊本ひがしクラブ  
第12代会長 田上 裕章 会長主題：絆 地域との絆 会員間の絆



2月 強調月間	（ルカ福音書4章18節） 主がわたしを遣わされたのは、 捕らわれている人に解放を、 目の見えない人に視力の回復 を告げ、圧迫されているひと を自由にし、主の恵みの年を 告げるためである。 （平山美保）	今月の聖句
Time of fast Community service Family fast あなたの奉仕で世界は変わる 川上孝司 事業主任	<p>これは旧約聖書に登場する預言者イザヤのことばです。「告げる」が3回使われています。「告げ知らせ」、「告げ」、「告げる」。告げるは福音を告知し、宣べ伝えること。イザヤは「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」といいます。わたしを遣わして主に願つて主のことばを伝える者（預言者）となりました。「宣べ伝える人がいなければ、どうして聞くことができましよう。」（ロマ6・8）とからです。</p> <p>主の恵みは、既にわたしのところに届いています。ただそのことに気づいていない。まだ知らないだけなのです。主の恵みの年は始まっています。今年、わたしのところに届いている主の恵みに気づく年でありますように。</p>	

1月例会出席記録	在籍会員数 28名 例会出席率 64.2%	第1例会 14名 出席総数 18名	第2例会 12名 ネット、コメント 7名	マイカップ 4名
----------	--------------------------	----------------------	-------------------------	----------

## 会長通信



# 地域の絆を備えとして

会長 田上 裕章

1月11日のホテル日航で行われた熊本地区7クラブ新春合

同例会にて、2016年もにぎやかにスタートいたしました。ご協力いただきました皆様、そしてこの例会をけん引してくださいました熊本むさしクラブの米村会長をはじめ、木本、徳永、池澤、内村、梅井各同期会長様方に心よりお礼申し上げます。

### 新春例会を終えましてー

会費をお支払い頂いている会員様方は皆さん良い会員であるわけですが、せっかく会費をお支払い頂いているのですから、出席いただきこのクラブを逆に活用して頂けるようであればもっと素晴らしい。それに値する新春例会だったと思います。そんな観点で、今期は参加者があとっと増えていけばいいなあと思っております。

さて、私がこれを書いておりますのは1月18日。昨日、阪神淡路大震災から満21年を迎えるました。私は大学3回生の時に、大阪府堺市にて震災を経験いたしました。

一夜漬けのテスト勉強で徹夜し、一講目のテ

ストまで仮眠を取ろう。そう思って布団に入った瞬間、今まで経験したことのない揺れが襲いました。

大阪・堺は震度4程度だったそうですが、それでも恐ろしかったです。実家に公衆電話から無事である旨連絡を入れた後、電話はつながらなくなりました。そして、テレビが映し出す被災地の映像を見て、しばし言葉を失うことになります。

亡くなる方はなかったのですが、家が被害を受けた大学の友人はたくさんいました。かける言葉もない中、明るくふるまう彼らを見て、人間は強いものだと思いました。

当クラブやながみねファミリーY M C Aでも防災に力を入れておりますが、個人的にはそういう思いもあります。「備えあれば憂いなし」とも言われますし、備えていても防げないものもある。そこまでをいかに生きるか。ということを考えます。

震災から21年。風化しておかしくない時期でもありますが、私はこの時期、毎年思い出し、心を馳せることにしております。どうか皆さんの心の隅にも、少しでも置いておいて頂ければと願います。

前年から準備を重ねてきた2011年1月16日、第1回防災フェアを開催しました。1995年の阪神淡路大震災を覚えて、時期は1月に行うことになったのでした。どんなに防寒していても、寒くてたまらない日だったことを思い出します。



その年の3月11日、東日本大震災が発災。あってはならないことです、災害はあります。地域防災への取り組みの重要性が前にもまして、言われるようになりました。

今思うと、ながみねファミリーと熊本ひがしクラブの、地域での在り方を決めるような年でした。以来、地域自治会の皆さんと共に、様々な団体の協力を得ながら、「防災」をテーマに活動してきています。

続けることは大事です。そうでないと忘れてしまうからです。人は、覚えておくことは難しいのです。だから、一人でなく力を合わせる。自分のこととして、みんなのこととして力を合わせる。覚えておくことを、何とかしてずっと続ける。継続と協力に、思いが宿ることを信じて続ける。  
(平山美保)

## 新入会員自己紹介

### 竹本 雄一

(たけもと ゆういち)



初めまして。タケモトデンキ株式会社代表取締役・竹本雄一と申します。この度は、ながみねファミリーYMCA館長・中村賢次郎様からのご紹介で、熊本ひがしクラブに入会させて頂きました。

入会のきっかけは、ながみね祭に、ひがしクラブのスタッフ側として参加させて頂いた事です。ぜひわたくしもこのような活動に携わりたいと強く感じました。

まだ入会2ヶ月目で何も分からぬ状態ですが、クラブの繁栄と子どもたちの未来に少しでも多く貢献していきます。

とにかく子どもたちの笑顔が大好きで見ているだけでこちらまで笑顔になります。この子たちの未来の笑顔の為に色々な活動を実行しています。先ずは自分たちが楽しむ！そして、その姿を子どもたちに見せて、自分たちもあんなカッコいい大人になりたい！と思ってもらう。

最近、ロードバイクを始めたばかりですが、今年の6月にはアメリカ縦断を決行します！

どなたかご一緒しませんか？（笑）

（2015年12月入会

S P・中村賢次郎）



年末に体調を崩し、年末年始は寝正月で過ごしておりました。今年は健康な1年にしたいものです。

さて、1月11日に開催された新春合同例会では、熊本中央高校バドミントン部監督の工藤勇参先生の卓話を久しぶりに聞くことができました。

印象に残った事が、インドネシアバドミントン協会への東京オリンピック熊本キャンプの誘致に関して、協会への表敬訪問の際に、偶然知り合いがいて話が進んだことです。

一つのこと（バドミントン）に、長年情熱をかけてこられた工藤先生だからこそ、幅広い人脈を活用出来ることだと思います。是非、熊本へのキャンプ誘致が成功することを期待しています。

わたしも現在の仕事を通じて、これまで以上に人脈を広げたいと再度考えさせられました。

また、他クラブのメンバーともテーブルを囲み交流を深めさせて頂きました。これからも積極的に活動していきたいものです。

（矢住 博士）

## 第一例会報告

### 新春合同例会

熊本地区7クラブ



1月11日  
ホテル日航



工藤先生とひがしクラブと阿蘇クラブ

My Story

## わたしの物語

File. 7

ちゅうよう  
「中庸」の実践 漢詩に学ぶのだ かずひこ  
野田 和彦 Y's勇士男兒斃勇士  
勸君須擇中庸去文明才子醉文明  
天下萬機歸一誠ゆうりょく だんじ ゆうりょく たお  
勇力の男兒は勇力に斃れぶんめい さいし ぶんめい よ  
文明の才子は文明に醉うきみ すす ちゅうよう えら  
君に勧むすべからく中庸を選びゆくべしてんか ばんき いっせい き  
天下の万機は一誠に帰す

この漢詩は、熊本（幕末～明治）の儒学者で教育勅語の起草にも携わった元田東野（永孚）作「中庸」です。

古今の漢詩や和歌は、数千年の歴史の間に淘汰され、より優れたものが現在まで引き継がれております。そこには、人として生きていく上の、道理や教訓、人情、悲喜、辛苦等すべての要素があり、根本的には、昔の人も今の人も、感情等に変わりはなく、生きていく上で今に通じるものがあります。

漢詩は吟ずる（節をつけてうたう）ことで、心情や情景を再現し普通に詩を読むよりは、より記憶に止まります。

私と吟詠の出会いは、35年程前に、仲人をお願いした先輩が吟詠の宗家だったことが始まりです。

はじめは、いかに上手く吟ずるかばかりに囚われていましたが、次第にその詩が持つ意味や作者、時代背景等歴史そのものを知ることに面白みを感じております。

表題に掲げました「中庸」は、自己を過信することなく、常に不偏中正の道を選び行動をとることであり、天下のあらゆることが起こる微妙な点は、一つの誠であり、それを失わないようにしなければならない。との意味だと解釈し、実践するよう努めています（実際には中々難しいが）。

さて、今世界を見れば、一つの思想や宗教等に囚われ、自分が信じているものが一番正しくて、他者は間違ないと決めつけてしまう空気がまん延しているような気がします。

すべての人が中庸を実践するようになれば、もう少し平和な世界になるのではと思いを馳せております。

お知らせ次回は、K.K.ワイズにお願いしています

## 第20回西日本区大会 「未来につなぐワイズ魂」～わきあがる感動を熊本から～



2017年6月に熊本で開催される西日本区大会をアピールする入佐実行委員長（新春合同例会）



## メネットコーナー

### 新春合同例会

1月11日（月・祝）、ホテル日航熊本において、熊本地区7クラブ（むさし、みなみ、ひがし、阿蘇、にし、ヤング、スピリット）合同新春例会が開催され、約100名が集いました。昨年秋から、むさしクラブ・米村会長とひがしクラブ・田上会長が労をとり、参加クラブが役割を分担しながら準備を進め、新春としては3回目となる合同例会です。

第1部は礼拝。スピリットクラブ・チャップレンの角本浩ワイスから「神さまは願いを叶えられる」と新年のメッセージを受け取り、第2部はひがしクラブ・田上会長による開会宣言・点鐘で始まりました。

熊本中央高校バドミントン部監督・工藤勇参氏を一年に続けて卓話者に迎え、「バドミントンに生かされて」と題して、先生ご自身の人生の証を聞きました。工藤氏は人との出会いを何深く思つたことでした。



1月11日（月・祝）、ホテル日航熊本において、熊本地区7クラブ（むさし、みなみ、ひがし、阿蘇、にし、ヤング、スピリット）合同新春例会が開催され、約100名が集いました。

昨年秋から、むさしクラブ・米村会長とひがしクラブ・田上会長が労をとり、参加クラブが役割を分担しながら準備を進め、新春としては3回目となる合同例会です。

ひがしクラブからは女性メン、メネットも参加（写真）。今年も皆さんと新年の賀詞を交わし、元気な笑顔に会って、年を始められる幸せを感じていて、うちに、2時間半の例会はあつという間に過ぎました。

（平山美保）

### 第二例会報告

1月16日（土）17:00～18:30

ながみねファミリーYMCA多目的室

出席 池田、岩本、歌野、加藤、菅、白木、田上、馬場、東、宮崎、横田、吉本

メネット 岩本、堀原、加藤、横田

#### 1. 2月例会の件

第一例会・東ティモールの現状の卓話を小国警察署の田中様にお願いしていたが勤務の都合で今回はご無理。今後も継続して歌野ワイズに取次ぎをお願いする。

#### 2. 3月の予定の件

3月20日・九州部チャリティラン

3月27日・ながみね防災フェア 重要な行事が続けて行われる。3月と4月の第一例会の取扱いについて検討した。

3月第一例会 3月7日（月）19:00 ながみね今後の九州部や西日本区などの方針、組織について徹底する例会とする。

4月例会・防災フェアを振替（3月27日開催）

#### 3. 運営細則の一部変更を執行部が提案する件

DBC交流やリーダーの例会参加も支援することを考える。運営細則第四条第一項の解釈でDBC

交流は今まで支援している。第三項（新規追加項目）に関しては、リーダーや職員などに補助を行うで規定が必要ではないかと話し合う。継続審議で執行部より再度提案する。

#### 4. DBC交流補助の件

会長とDBC委員長の二人分の交通費旅費を支援し、参加者で均等に割る案を承認。会長が会計に申請する。参加者5名。

#### 5. 西日本区大会委員長の件

広報（ひがしとスピリット）委員長に田上ワイズ、第二プログラム（ひがしと阿蘇）委員長に馬場ワイズ（または副）を承認。

#### その他

・熊本YMCA大会 5月27日～29日開催

ひがしからもクラブアピールを行う。

・クラブ独自の地域交流の方策も今後考えて行ってはどうか。青少年育成など。

・自治会との連携。地域のフェア的なものを出来ないかと自治会の方から提案があつて…中村館長にも確認

・宮崎次期九州部長の活動費拠出の件

\*ながみねファミリーYMCAより報告（別紙）

## 「YMCA・ワイズの源流」の学び！ ③

### 賀川 豊彦（かがわ とよひこ） その3

1907（明治40）年3月、13歳の賀川豊彦は明治学院神学部予科を終了する。新設の神戸神学校に転入学するまでの半年間、当時、和知牧太郎牧師が牧会する岡崎教会、長尾巻長尾巻牧師の豊橋教会（いずれも愛知県）の応援伝道をした。

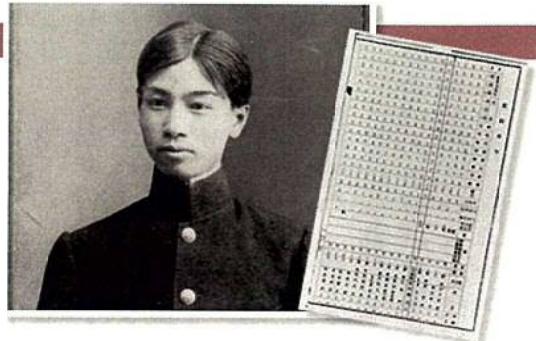
1907年8月豊橋の札木町で路傍伝道を続け、41日目に発熱喀血し危篤に陥るが、長尾家のあたたかい介護により一命を取り留めた。この19歳の経験と、その後の働きを書き綴ったのが、空前のベストセラーとなった名著「死線を越えて」である。

長尾巻牧師との出会いが、その後の賀川豊彦の心に刻み込まれ、一生を形づくったといつても言い過ぎではない。1959（昭和34）年1月4日に西宮市で「長尾巻に学ぶ」という最後の説教をした。5分ほども声が詰まって講壇の上に衝撃したという。

『「肺病」にかかっていた私は1カ年間、彼の家のぼろ二階に寝かせてもらって親身も及ばぬ世話をした。長尾巻は貧乏、迫害、キリスト教によって武者修行したキリストの武士であった。その根強い天でも、私は彼程の者を知らない。

私が今まで一番感化を受けた人物、それは長尾巻である。世話になったのと、学んだのとは違う。私が世話になったのはアメリカの宣教師だが、学んだのは長尾巻からである。日本にこのような伝道者が出来たことを神に感謝する。こんな人こそ聖人というのだ。“神に酔える隠れた聖徒”これは長尾巻に献げられるべき最も適切な称号であると思う。私が神戸新川のスラム街に身を投じて、貧民伝道を思い立ったのは長尾巻に学んだからである。』（一部抜粋）

注）イエスの友会三河支部の鈴木貞雄編「三河と賀川豊彦」を参考にさせていただきました。



（文・企画 歌野清三）

### 考動

### 地域に在るY M C A

#### 30年を迎える「ながみね」

ながみねファミリーY M C Aは、2017年に30周年を迎えます。運営委員会において30周年事業にどのように取り組むか、検討を始めています。

「ながみね祭」はもとより、この数年は「防災フェア」を地域（自治会）と共に開催するなど、この地に深まり根付くY M C Aであることを願って日々活動しています。しかしながら、地域深化はどれほど深まっているのか、未だ地域に認知されていない現状もあると省みております。

30周年記念のロゴを広く募ることにしてい

ます。募集することによっても「この地にあって30年」をアピールしたいのです。さらに会員の方々に（歴史のわかる）写真の提供を呼びかける予定です。地域の方と共にY M C Aを再認識し、新たな一步を歩みだしたいと願っています。

30周年記念会を、その年の「ながみね祭」の午前中に行いたいと考えています。職員・運営委員だけにとどまらず、視野は外に向けて、地域の方が参加しやすく足を運びやすい内容を模索中です。

「地域に生きる」は、日々たゆまぬ努力あってこそです。力と心を合わせて努力を続けます。

（ながみねファミリーY M C A運営委員長・横田博）



## YMCA通信

連絡主事 中村賢次郎

### 【防災プログラム】

ながみねファミリーYMCAとひがしワイズメンズクラブの代名詞ともなりました「防災プログラム」。今年は3月27日に予定しています。

1月には自治会との協議会も行い、地域とのつ

ながりを深める機会として信頼を得ています。

防災というテーマで地域とYMCAが一つとなるモデルとして今後も内容を充実していきたいと思います。皆様のご協力お願いします。

2月 7日（日）防災体験ツアー

3月27日（日）防災プログラム



### 【東ティモールPSG会議】

2月3日～5日で、東ティモールYMCAにて、アジア太平洋YMCA同盟会議が実施されます。この会議は、東ティモールYMCAの支援活動と自立に向けた事業計画など、アジア同盟、韓国YMCA、日本YMCA同盟、熊本YMCAが集まり協議をする会です。

現地の子どもたちにとってサッカー

は、生活と教育の機会の一部です。今、子どもたちのサッカー用品が不足しています。

ながみねファミリーYMCAからは、サッカーボールとサッカー用品を寄贈します。ご協力いただける方募集中です。また、熊本の子どもたちから集まったサッカーシューズは郵送する予定です。



### 【チャリティプログラム報告】

国際協力青少年育成年未募金の一貫としてチャリティープログラムを行いました。

子どもたちが楽しみながら募金活動に参加できるゲームコーナーやバザーなど家族で喜んでいただきました。

## 良く生きる

### 「豊かな人生」の実現

歌野 清三

人生を前向きに生きていくための心豊かなヒントを現代のわたしたちに教えてくれる「理想の夫妻」が江戸時代にいたことが知られています。

「養生訓」の著者・貝原益軒と妻の東軒です。貝原益軒は幼少時から頭脳明晰で、家にあふれていた書物をむさぼるように読み、幅広い知識を身につけ評判になり、19歳で仕官。「余人に代え難し」と言わされて長く職にあり、71歳で退官。39歳と晩婚ながら22歳年下の妻・東軒とはとても仲睦まじく人も羨むほどだったそうです。益軒が62歳と69歳の時、二人連れ立って上洛しています。

二人は共通の趣味を持ち、益軒は琵琶、東軒は箏の名手。著述の合間には音楽や芝居、旅に遊び、友人との交流を楽しんで暮らしています。益軒あるところには必ず妻の東軒の姿があり、「粹な夫婦」と評判だったそうです。

貝原益軒は84歳のとき東軒を喪い、後を追うように85年の生涯を閉じています。当時としてはかなりの長寿だと思います。老後の最高の「養生」は夫婦仲良く過ごすことがあると、身を以て示して、人生の最後まで心身ともに健康に、意気盛んに生きたのだと思います。わたしたちも夫婦の共通体験を見出し、共に寄り添っていくように心がけたいものです。

### ハッピーバースディ&アニバーサリ

#### 2月バースディ

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 17日 横田 博  | 18日 中村賢次郎 |
| 23日 宮崎 隆二 | 27日 塩谷 康宏 |
| 28日 大澤 玲子 |           |

#### 2月アニバーサリ 4日 歌野清三&堀原園江

- 1 いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに  
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン  
絶えせず めあて望み この身を捧げつくさん
- 2 歌えば 心ひとつに ともがき ひろがりゆきて  
遠きも近きもみな ささげて立つやワイズメン  
栄えとほまれ豊か まことは胸にあふれん
- なごりはつきねど つどいは果てぬ  
きょうひとひのさち しづかに思う

## TOF例会 &

### リーダーとの交流会

日時・2月1日（月）19:00～21:00

会場・ながみねファミリーYMCA

司会・白木 尚登

開会宣言・点鐘

田上 裕章

ワイズソング「いざたて」

全員

目的唱和

全員

会長挨拶

会長 田上 裕章

ゲスト・ビジター・リーダーの皆さん紹介

卓話「TOFの意義」

菅 正康

「YMCAリーダーとワイズ」

ながみねファミリーYMCA運営委員長 横田 博

食前感謝

歌野 清三

乾 杯

次期会長 岩本 芳久

食事・リーダーとの交流

ハッピーバースディ&アニバーサリ

諸報告

なごりはつきねど

全員

閉会宣言・点鐘

会長 田上 裕章

## 2月以降の予定

2月1日（月）TOF例会

19:00 ながみねファミリーYMCA

2月6日（土）～7日（日）DBC交流

京都訪問 京都めいぶるクラブ

田上、池田、宮崎、馬場、東5名

2月20日（土）第二例会

17:00 ながみねファミリーYMCA

2月28日（日）阿蘇＆ヤング合同リーダー感謝会

15:30 スポルト大劇

3月7日（月）第一例会

19:00 ながみねファミリーYMCA

3月9日（水）熊本連絡会議

19:00 中央YMCA

3月19日（土）第二例会

17:00 ながみねファミリーYMCA

3月20日（日）YMCAチビッコサッカー＆  
チャリティ駅伝 益城運動公園

3月27日（日）防災フェア（4月例会振替）

朝から ながみねファミリーYMCA